

# 極東投資会議 松山副大臣スピーチ

平成25年9月6日

尊敬するミクルシェフスキー沿海地方知事，ゴルチャコフ沿海地方  
議会議長及びイヴァネツ極東連邦大学学長御列席の皆様，

日本政府を代表して，本日の極東投資会議の開催をお祝いいたします。  
また，ロシアの極東地域における最も影響力のあるフォーラムの  
一つであるこの会議に御招待いただいたことに対し，心から感謝いた  
します。また，昨日のサンクトペテルブルグG20サミットの際に行  
われた日露首脳会談において，安倍総理からプーチン大統領に対し，  
アムール川の洪水による多大な被害についてお見舞いを申し上げまし  
た。沿海地方でも被害にあった方がおり，また，当地にて被災地の子  
供を受け入れていると承知しており，私からも心よりお見舞い申し上  
げます。

この会議は，ロシア極東地域がいかなる潜在性を持っているか，今  
後，アジア太平洋地域の成長ハブの一つとしていかにその潜在性を引  
き出していくかについて，ロシア国内のみならず，我が国も含め多く  
の国々のビジネスマン，政治家，政府の代表そして有識者が，様々な  
切り口から議論する貴重な場です。有意義で活発な議論がなされるこ  
とを期待しています。

## 【アジア太平洋地域におけるロシア極東地域の重要性】

アジア太平洋地域は，世界的な成長センターとして，今後も更に発  
展していくと考えられています。そして，アジア太平洋の経済発展が  
進むにつれ，今回の会議のテーマである，経済活動を支えるエネルギ  
ー資源，運輸インフラ，食糧供給，発展を支える人材育成などへの需  
要が一層高まることは明らかです。そのような中で極東・シベリア地  
域の果たす役割も大きくなると考えます。

極東・シベリア地域のエネルギー資源は、中長期的に見て、成長するアジア太平洋地域のエネルギー調達コストを低くし、アジア太平洋地域の成長を底支えしていく潜在性があり、サハリンの開発、ウラジオ LNG や極東 LNG プロジェクトなどの実現が期待されます。

また、太平洋とユーラシア大陸の窓に当たるウラジオストクには、物流拠点として大きな期待が寄せられています。例えば、シベリア鉄道を整備すれば、輸送期間をこれまでの半分に短縮できると言われています。アジア太平洋地域から欧州への通路に当たるシベリア鉄道や港湾の近代化を通じ、運輸・物流インフラの整備を図っていくことが期待されます。

農業分野においても、最近の農業技術の進歩により、寒冷地である極東・シベリア地域でのそばや大豆、畜産といった食糧生産への関心が高まっています。

更に、人材育成分野においては、ロシア政府は極東連邦大学を設置するなど、ウラジオストクを、極東地域、更にはアジア太平洋地域の将来を担う人材育成センターの一つにしようとのアイディアにも注目が集まっています。

このように、ロシア極東地域は、本日取り上げられるテーマを中心に大きな潜在力を持ち、アジア太平洋地域の成長にとっても重要な役割を果たし得る地域です。そして、日本はロシア極東地域の発展に大きく貢献し得る隣国です。

### 【日露経済関係】

こうしたロシア極東地域の潜在力を念頭に、日露経済関係について触れたいと思います。

我が国はロシアとの関係を重視しています。本年4月、安倍総理が日本の総理大臣としては10年ぶりとなるロシアへの公式訪問を行い、日露関係の発展に新たな弾みと長期的方向性を示しました。

日本とロシアの経済関係は着実に発展しています。2012年の日露の貿易額は335億ドルと過去最高になり、今年もそれを上回る勢いとなっています。上述の総理訪問の際には、120名以上の日本企業関係者が同行し、農業・食料、都市環境、医療等の分野での日露協力の可能性について意見交換を行いました。

こうした中、極東地域における日露協力も進展し、重要性を増しています。

エネルギー分野では、サハリンにおける石油・ガス開発プロジェクトを始めとして、ウラジオストクLNGプラントや東シベリア共同探鉱などの協力が進んでいます。5月には日本のINPEXとロスネフチの間で、マガダン州における油田共同探鉱に関する合意が結ばれました。また、製造業分野でもトヨタ、マツダの進出等、目に見える協力が積み上がってきています。

最近では、農林業、医療、省エネ、学術交流などの新しい分野においても、様々な日露協力が進展しています。

農林業分野では、北海道銀行が北海道の農業者と共に、ハバロフスク地方及びアムール州で、寒冷地農業技術を活用した協力を開始しました。三井物産がブリヤート共和国にて木材加工会社へ資本参加しました。

医療分野では、我が国の先端医療を活用した協力が進展しています。日本の病院「北斗病院」は今年6月からここウラジオストクにおいて「HOKUTO画像診断センター」を設立しました。最先端の機器・技術による検査を開始し、多数の患者が行列をなしていると聞いています。

また、省エネ・エネルギー効率改善の分野でも日露協力は進んでいます。川崎重工はRAOESヴォストーク社との間で、エネルギー効率80%を誇るコジェネガスタービンを極東地域で試験的に設置することで合意しました。

学術・研究分野では、昨年3月、東北大学は極東連邦大学との間で学術交流協定を締結し、極東連邦大学との協力を進めています。また昨年9月、コマツは極東連邦大学と協力に関する覚書を作成し、建設・道路機械・ラボ教室を供与するなど、人材育成のための協力を行っています。

我が国としては、幅広い分野で極東地域における日露協力を強化し、極東地域の潜在力の蓋をウィン・ウィンの形で大きく開けていきたいと考えています。

なお、本日、日本の国際協力銀行と極東バイカル地域開発基金との間で業務協力協定への署名が行われる予定です。日本としては、これも弾みとしつつ、極東開発における日露協力が更に進むように努力していきたいと考えています。

### 【結語】

日露経済関係は、着実に強化されてきています。しかし、極東における日露協力にはより大きな潜在力があると確信しています。その潜在力を更に活かし、極東における日露協力を拡大するためには、ロシアの貿易・投資環境を一層良いものにすることも重要です。プーチン大統領は、ロシアのビジネス環境ランキングを120位から20位に上げると述べています。これが実現すれば、ロシア極東地域がアジア太平洋地域の経済成長に重要な役割を果たす都市の一つになると確信しています。ロシアの皆様が、日本をはじめとするアジア太平洋諸国との連携を強化していくとともに、貿易・投資環境の整備にも意を用い、極東地域が更なる発展を遂げることを期待しています。日本政府としても、互惠の原則にのっとり日露協力の発展に尽力していく考えであることを申し上げて、結びといたく思います。

ご清聴ありがとうございました。